

基本情報

- 事業内容 FA機器の開発・設計・製造・販売。
車載電子部品の製造装置が中心
- 所在地 〒390-1242
長野県松本市和田3967-74
TEL.0263-48-1170
FAX.0263-48-1173
email info@a-i-tec.co.jp/
- 資本金 4,000万円
- 従業員数 21名(平均年齢40歳)
- 設立 1986年9月
- URL <http://www.a-i-tec.co.jp/>
- 売上高 12億2,384万円



- 福利厚生 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・退職金制度、
保養施設あり(<http://a-i-tec.co.jp/profile/atmosphere.html>)
- 休日・休暇 日曜、祝日、土曜(土曜は出勤日もあり)年間休日110日
- 初任給

	大卒	高専卒	短大・専門学校卒	高卒
基本給	200,000円	180,000円	160,000円	150,000円
諸手当	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円

■ 最近の雇用状況 (30歳未満の若年雇用者)

	22年度	23年度	24年度
採用者	0名	0名	0名
離職者	0名	0名	0名

企業の強み

主力製品のひとつである低高温検査機を紹介します。
車載電子部品の内、エンジンやパワステ等人命にかかわる製品は-40~125°Cの厳しい環境下で全数検査を行います。その検査をする装置です。2元冷凍機という技術を使っており、コンパクトで省エネな上1週間(競合他社は1日)の連続運転が可能です。(株)デンソー、トヨタ自動車(株)、日立オートモティブシステムズ(株)、(株)ホンダエレシスなど最先端の企業に納入しています。



低高温検査機

目指す企業の姿

【経営理念】 未知なるものに対する好奇心【創意】
物を産み出す喜び【熱意】
人に対する優しさ【誠意】
を大切にします。

【経営戦略】 同じ技術者が打ち合わせ、設計、製造、現地調整まで一貫して担当する事により、お客様の細かな要望やトラブルにも直接に対応できます。
やりがいを実感でき、技術者としても人間としても成長できるシステムです。
低高温検査機、異型部品挿入機、防湿剤塗布機などニッチな得意分野を確立しています。
大企業の傘下に入らず、いろんな顧客とお付き合いする中で技術や情報を吸収しています。高い技術を持ったメーカーが多いのも自慢です。



【将来ビジョン】 現在の技術を更に深めるための研究開発を進めます。2013年度は低高温検査機の省エネ化に関する研究開発が政府の補助金の対象として採択されました。
既に機械設計は全て3DCADで行っていますが、CAE導入や生産システムの強化など更なるIT化を推進します。
海外進出を検討しています。輸出も増えお客様からの要望も多いのです。世界中の人に喜ばれる会社になりたいと考えています。

実際に
訪問した

学生から見た魅力

レポート: S大学K学部 Kさん

働
き
が
い



中小企業では一人当たりの仕事のバリエーションが多いことが一つの特徴だと思います。そのため幅広い仕事をこなすことで多くの技術や知識を身につけ、自らのスキルアップにつながると考えています。その結果充実した仕事をし、働きがいを感じる事ができると思いました。

また地元に着した企業であることから地元のために働いているという実感を覚える事ができると思いました。

職
場
の
雰
囲
気



職場を見学し第一に感じたことは人と人の距離が近いということでした。また他社の社員の方も多く出入りするような職場なため、幅広い人間関係を築くことができると思いました。

また会社訪問した時の対応も明るく親切で、話しやすく働きやすい職場だと感じました。同じ高校の卒業生の方も数人いらっしゃるということで親近感を覚えました。

将
来
性



現在のエーアイテックは設計から製造まで行っています。将来的には設計をメインにした会社にしていきたいということ伺い、小さい会社ながら将来へのビジョンを持ち、そこに向かう姿に将来性を感じました。

また様々な会社で工程の自動化が進む中でエーアイテックはFA機器を扱うことから多くの需要があると思いました。

社長、先輩社員から一言



代表取締役社長 大林 頼彦



技術者が力を最大限に発揮できる環境を作りたいと思っています。

設計者には大きな権限があります。

開発型の企業ですので、前向きな失敗は許されます。

細かい規則もありません。

装置を無事おさめてお客様に喜ばれた時は、大きな充実感と技術者としての自信を得られると思います。

是非エーアイテックの技術者の一員になって、思う存分ものづくりに没頭してください。

追伸: 冷凍機の技術者候補は特に歓迎です。

営業部 Eさん (2008年4月入社)

この会社に入り、まず驚いたことは先輩社員の仕事に対する意識の高さでした。技術者はプロジェクトを受持つと、打合せ・設計・組立・納入後の立上・アフターサービスに至るまで一連で担当していて、「自分がお客様の為に何をすべきか?」という考えに当たり前に立つことができ、そのため社内全体に自然と浸透しています。

そんな先輩たちの一つ一つ教えてもらっていき、自然と自分も成長することが出来たのだと思います。

